



2018年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2017年10月5日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼開発部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2017年10月13日 配当支払開始予定日 2017年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年2月期第2四半期の業績(2017年3月1日~2017年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年2月期第2四半期	52,544	0.3	803	△33.5	843	△32.6	521	△27.1
2017年2月期第2四半期	52,397	0.8	1,209	△9.6	1,251	△9.0	715	△3.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2018年2月期第2四半期	46.15		45.67					
2017年2月期第2四半期	63.56		63.12					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年2月期第2四半期	27,854	18,443	66.0
2017年2月期	27,342	17,999	65.6

(参考) 自己資本 2018年2月期第2四半期 18,378百万円 2017年2月期 17,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2018年2月期	—	15.00	—	—	—
2018年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年2月期の業績予想(2017年3月1日~2018年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	0.5	2,550	1.0	2,610	0.3	1,500	9.4	132.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年2月期2Q	12,500,000株	2017年2月期	12,500,000株
② 期末自己株式数	2018年2月期2Q	1,152,842株	2017年2月期	1,223,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年2月期2Q	11,292,354株	2017年2月期2Q	11,252,997株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善により景気は緩やかな回復基調が続きました。また、個人消費は、緩やかな持ち直しの動きが続きました。先行きにつきましても、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善等により、引き続き緩やかな景気の回復が期待されております。しかしながら、為替・金融資本市場の動向や海外経済の不確実性に留意が必要な状況となっております。

このような状況におきまして当社は、4月に甚目寺店・6月に富吉店をリニューアルオープンいたしました。

販売促進企画として、ポイントカードの新規会員募集やお買物券プレゼント、お客様を対象とした食品メーカーとの共同企画によるIHクッキング教室(本社ビル3F)の開催を引き続き実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・週に一度の日曜朝市及び95円(本体価格)均一等の企画を継続実施いたしました。

しかしながら、当流通業界におきましては、生鮮食品へのドラッグストアの参入や同業店舗間競争の激化、生鮮食品の相場変動の影響、また、急激な労働需給の引き締めなど、厳しい経営環境が続きました。

以上の結果、当第2四半期は、営業収益525億44百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益8億3百万円(前年同期比33.5%減)、経常利益8億43百万円(前年同期比32.6%減)、四半期純利益5億21百万円(前年同期比27.1%減)と増収減益となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、3億4百万円増加し、114億80百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、2億7百万円増加し、163億74百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、5億11百万円増加し、278億54百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、1億32百万円増加し、76億21百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、64百万円減少し、17億90百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、67百万円増加し、94億11百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、4億43百万円増加し、184億43百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、0.4ポイント増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の四半期末残高は、93億53百万円となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの）が、4億48百万円の増加となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが89百万円減少したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、12億78百万円となりました（前年同四半期累計期間は3億68百万円の資金の増加）。これは主に、営業収入の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、8億30百万円となりました（前年同四半期累計期間は11億84百万円の資金の減少）。これは主に、店舗の設備投資等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、89百万円となりました（前年同四半期累計期間は1億47百万円の資金の減少）。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2017年10月4日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (2017年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2017年8月31日)
(単位：百万円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,994	9,353
売掛金	0	0
商品	1,408	1,443
貯蔵品	28	24
その他	744	657
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,176	11,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,957	6,893
土地	3,895	3,895
その他(純額)	1,031	1,092
有形固定資産合計	11,884	11,881
無形固定資産	319	306
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,791	3,013
その他	1,220	1,222
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	3,962	4,185
固定資産合計	16,166	16,374
資産合計	27,342	27,854
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,240	5,758
未払法人税等	428	280
資産除去債務	13	13
賞与引当金	184	185
役員賞与引当金	26	—
ポイント引当金	234	249
その他	1,361	1,134
流動負債合計	7,488	7,621
固定負債		
退職給付引当金	522	539
長期預り保証金	904	883
資産除去債務	350	354
その他	76	11
固定負債合計	1,854	1,790
負債合計	9,343	9,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,650	1,677
利益剰余金	15,969	16,321
自己株式	△1,053	△992
株主資本合計	17,938	18,378
新株予約権	60	64
純資産合計	17,999	18,443
負債純資産合計	27,342	27,854

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)
売上高	50,091	50,229
売上原価	42,444	42,984
売上総利益	7,647	7,245
その他の営業収入	2,306	2,314
営業総利益	9,953	9,560
販売費及び一般管理費	8,744	8,756
営業利益	1,209	803
営業外収益		
受取利息	15	14
その他	29	27
営業外収益合計	44	42
営業外費用		
支払利息	0	0
収納差金	1	1
貸倒引当金繰入額	0	—
営業外費用合計	2	2
経常利益	1,251	843
特別利益		
新株予約権戻入益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	45	29
特別損失合計	45	29
税引前四半期純利益	1,207	814
法人税、住民税及び事業税	443	220
法人税等調整額	49	72
法人税等合計	492	293
四半期純利益	715	521

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,207	814
減価償却費	589	550
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△44	△26
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15	14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	10
退職給付制度改定に伴う未払金の増減額(△は減少)	△69	△66
役員退職慰労金の支払額	—	△227
受取利息及び受取配当金	△15	△14
支払利息	0	0
固定資産除却損	19	14
売上債権の増減額(△は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66	△30
未収入金の増減額(△は増加)	63	59
仕入債務の増減額(△は減少)	250	518
未払金の増減額(△は減少)	△14	38
未払消費税等の増減額(△は減少)	△713	△35
未払費用の増減額(△は減少)	67	79
その他	△56	△47
小計	1,258	1,653
利息及び配当金の受取額	1	0
法人税等の支払額	△891	△375
営業活動によるキャッシュ・フロー	368	1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,208	△592
無形固定資産の取得による支出	—	△0
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	3	1
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△257
敷金及び保証金の回収による収入	72	49
預り保証金の返還による支出	△58	△79
預り保証金の受入による収入	11	59
その他	△2	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,184	△830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	50	80
配当金の支払額	△196	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147	△89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△962	359
現金及び現金同等物の期首残高	9,586	8,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,623	9,353

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。